

平成27年度中川村普通会計決算状況

会計名	頁
一般会計	2～19
特別会計	
国民健康保険事業特別会計	20
介護保険事業特別会計	21
後期高齢者医療特別会計	22
公共下水道事業特別会計	23
農業集落排水事業特別会計	24

平成27年度 (2015) 一般会計決算報告書

決算収支の状況

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成26年度	対前年度 (増減率)
歳入総額 ①	3,546,549	3,639,100	△ 92,551 (△2.5%)
歳出総額 ②	3,183,514	3,422,386	△ 238,872 (△7.0%)
歳入歳出差引額 ①-② ③	363,035	216,714	146,321 (67.5%)
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	18,525	11,390	7,135 (62.6%)
実質収支 ③-④ ⑤	344,510	205,324	139,186 (67.8%)
単年度収支 ⑥	139,186	△ 72,961	212,147 (△290.8%)
積立金 ⑦	800	700	100 (14.3%)
繰上償還金 ⑧	138,225	163,632	△ 25,407 (△15.5%)
積立金取崩し額 ⑨			
実質単年度収支 ⑥+⑦+⑧-⑨ ⑩	278,211	91,371	186,840 (204.5%)

(平成27年度地方財政状況調査)

(注)

- 1) 単年度収支⑥は、H27実質収支-H26実質収支
- 2) 積立金⑦及び積立金取崩し額⑨は、財政調整基金の額
- 3) 繰上償還額⑧は、繰上償還額のうち「任意に行ったもの」の額

中川村の平成27年度決算に基づく健全化判断比率

(地方公共団体の財政の健全化に関する法律第2条に基づく比率)

	実質赤字比率		連結実質赤字比率		実質公債費比率		将来負担比率	
	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度
中川村	—	—	—	—	3.3	4.6	—	—
早期健全化基準	15.0		20.0		25.0		350.0	
財政再生基準	20.0		30.0		35.0			

(注)

- 1) 実質赤字比率は、一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
- 2) 連結実質赤字比率は、全会計を対象とした実質赤字(又は資金の不足額)の標準財政規模に対する比率
- 3) 実質公債費比率は、一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率(3カ年平均)
- 4) 将来負担比率は、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

歳 入 の 概 要

(単位:千円)

区 分	平成27年度			平成26年度			対前年度	
	決算額	うち経常一般財源	決算額 構成比	決算額	うち経常一般財源	決算額 構成比	増減額	増減率
1 村 税	451,333	451,333	12.7%	452,187	452,187	12.4%	△ 854	△ 0.2%
2 地 方 譲 与 税	50,671	50,671	1.4%	48,527	48,527	1.3%	2,144	4.4%
(1) 地方揮発油譲与税	15,391	15,391	0.4%	14,530	14,530	0.4%	861	5.9%
(2) 地方道路譲与税								
(3) 自動車重量譲与税	35,280	35,280	1.0%	33,997	33,997	0.9%	1,283	3.8%
3 利 子 割 交 付 金	785	785	0.0%	957	957	0.0%	△ 172	△ 18.0%
4 配 当 割 交 付 金	2,191	2,191	0.1%	2,726	2,726	0.1%	△ 535	△ 19.6%
5 株式等譲渡所得割交付金	2,246	2,246	0.1%	2,077	2,077	0.1%	169	8.1%
6 地 方 消 費 税 交 付 金	89,581	89,581	2.5%	51,931	51,931	1.4%	37,650	72.5%
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	9,439	9,439	0.3%	5,160	5,160	0.1%	4,279	82.9%
8 地 方 特 例 交 付 金	1,775	1,775	0.1%	2,071	2,071	0.1%	△ 296	△ 14.3%
9 地 方 交 付 税	1,854,522	1,736,757	52.3%	1,807,102	1,693,820	49.7%	47,420	2.6%
(1) 普 通 交 付 税	1,736,757	1,736,757	49.0%	1,693,820	1,693,820	46.6%	42,937	2.5%
(2) 特 別 交 付 税	117,765		3.3%	113,282		3.1%	4,483	4.0%
(3) 震災復興特別交付税								
10 交通安全対策特別交付金	610	610	0.0%	607	607	0.0%	3	0.5%
11 分 担 金 及 び 負 担 金	10,719	1,592	0.3%	11,151		0.3%	△ 432	△ 3.9%
12 使 用 料 及 び 手 数 料	82,388	52,959	2.3%	84,198	2,299	2.3%	△ 1,810	△ 2.1%
13 国 庫 支 出 金	266,059		7.5%	264,560		7.3%	1,499	0.6%
14 県 支 出 金	219,279		6.2%	187,373		5.2%	31,906	17.0%
15 財 産 収 入	11,639	6,685	0.3%	8,769	6,970	0.2%	2,870	32.7%
16 寄 附 金	1,643		0.0%	3,273		0.1%	△ 1,630	△ 49.8%
17 繰 入 金								
18 繰 越 金	216,714		6.1%	284,270		7.8%	△ 67,556	△ 23.8%
19 諸 収 入	45,655	7,733	1.3%	54,861	169	1.5%	△ 9,206	△ 16.8%
20 村 債	229,300		6.5%	367,300		10.1%	△ 138,000	△ 37.6%
うち臨時財政対策債								
合 計	3,546,549	2,414,357	100.0%	3,639,100	2,269,501	100.0%	△ 92,551	△ 2.5%

(平成27年地方財政状況調査)

税 収 入 の 状 況

(単位:千円)

区分	科目別	調定済額		収入済額		徴収率		収入済額の対前年度増減率	〔参考〕人口1人当り額(円)			
		現年課税分	滞納繰越分	合計	現年課税分	滞納繰越分	合計		27年度	26年度	比較	中川村
1 村 民 税	税	195,861	3,035	198,896	194,820	2,313	197,133	99.1%	98.3%	0.8%	38,602	40,090
	(1) 個人均等割	8,832	133	8,965	8,784	100	8,884	99.1%	98.4%	0.7%	1,740	1,494
	(2) 所得割	173,149	2,596	175,745	172,206	1,957	174,163	99.1%	98.4%	0.7%	34,103	31,718
	(個人計)	(181,981)	(2,729)	(184,710)	(180,990)	(2,057)	(183,047)					
	(3) 法人均等割	8,867	306	9,173	8,817	256	9,073	98.9%	96.0%	2.9%	1,777	2,498
普通税	(4) 法人税割	5,013		5,013	5,013		5,013	100.0%	100.0%	0.0%	982	4,381
	(法人計)	(13,880)	(306)	(14,186)	(13,830)	(256)	(14,086)					
2 固定資産税	税	214,207	11,559	225,766	212,027	3,609	215,636	95.5%	94.7%	0.8%	42,223	57,759
	(1) 純固定資産税	207,704	11,559	219,263	205,524	3,609	209,133	95.4%	94.6%	0.8%	40,950	55,510
	了土地	42,521	3,296	45,817	41,961	926	42,887	93.6%	93.5%	0.1%	8,398	10,443
	イ家屋	103,768	7,529	111,297	102,284	2,457	104,741	94.1%	93.1%	1.0%	20,509	22,505
	ウ償却資産	61,415	734	62,149	61,279	226	61,505	99.0%	98.3%	0.7%	12,043	22,563
3 軽自動車税	(2) 交付金・納付金	6,503		6,503	6,503		6,503	100.0%	100.0%	0.0%	1,273	2,248
	税	16,765	117	16,882	16,703	87	16,790	99.5%	99.2%	0.3%	3,288	2,631
4 村たばこ税	税	21,560		21,560	21,560		21,560	100.0%	100.0%	0.0%	4,222	7,043
	入湯税	214		214	214		214	100.0%	100.0%	0.0%	42	494
5 国民健康保険税	合計	448,607	14,711	463,318	445,324	6,009	451,333	97.4%	96.6%	0.8%	88,377	108,017
	国民健康保険税	115,210	5,834	121,044	112,816	2,957	115,773	95.6%	95.0%	0.6%	-	-

(平成27年地方財政状況調査)

【住民基本台帳搭載人口 H27.4.1現在 5,107 人】

【参考 平成26年度全国類団(II-0)数値の人口 H27.1.1現在 6,772 人】

歳 出 の 概 要

(単位:千円)

区 分	平成27年度			平成26年度			前年度対比	
	決算額	うち、 経常一般財源等	決算額 構成比	決算額 構成比	うち、 経常一般財源等	決算額 構成比	増減額	増減率
1 人件費	588,690	530,975	18.5%	577,741	512,137	16.9%	10,949	1.9%
2 物件費	469,875	231,457	14.8%	469,732	244,830	13.7%	143	0.0%
3 維持補修費	8,959	5,437	0.3%	15,613	9,397	0.4%	△ 6,654	△42.6%
4 扶助費	240,138	76,749	7.5%	245,578	78,683	7.2%	△ 5,440	△2.2%
5 補助費等	391,022	217,172	12.3%	383,066	209,345	11.2%	7,956	2.1%
内(1)一部事務組合に対するもの	137,035	120,342	4.3%	179,621	128,053	5.3%	△ 42,586	△23.7%
内(2) (1)以外のもの	253,987	96,830	8.0%	203,445	81,292	5.9%	50,542	24.8%
6 公債費	526,372	388,147	16.5%	556,832	393,200	16.3%	△ 30,460	△5.5%
内(1)元利償還金	501,574	363,349	15.8%	525,735	362,103	15.4%	△ 24,161	△4.6%
内(2)一時借入金利子	24,793	24,793	0.8%	31,091	31,091	0.9%	△ 6,298	△20.3%
7 積立金	5	5	0.0%	6	6	0.0%	△ 1	△16.7%
8 投資及び出資金	13,039		0.4%	112,867		3.3%	△ 99,828	△88.4%
9 貸付金								
10 繰出金	437,629	400,150	13.7%	425,790	395,607	12.4%	11,839	2.8%
11 投資的経費	507,790		16.0%	635,167		18.6%	△ 127,377	△20.1%
うち、人件費	10,356		0.3%	11,216		0.3%	△ 860	△7.7%
(1)普通建設事業費	503,845		15.8%	633,422		18.5%	△ 129,577	△20.5%
うち単独事業費	329,624		10.4%	295,017		8.6%	34,607	11.7%
(2)災害復旧事業費	3,945		0.1%	1,745		0.1%	2,200	126.1%
歳出合計	3,183,514	1,850,087	100.0%	3,422,386	1,843,199	100.0%	△ 238,872	△7.0%

(平成27年度地方財政状況調査)

区 分	金額	区 分	金額
1 議員報酬手当	44,743	7 災害補償基金負担金	522
2 委員等報酬	24,736	8 職員互助会補助金	1,045
3 村長等特別職給与	25,889	9 その他	403
4 職員給	359,966	小 計	588,690
5 共済組合負担金	82,972	事業費支弁人件費	10,356
6 退職手当負担金	48,414	合 計	599,046

人件費の内訳

歳出の内訳及び財源内訳

(単位:千円)

性質別	目的別	議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	災害復旧費	合計	決算額 構成比	
歳出内訳	1 人件費	59,453	228,502	95,926	35,486	59,202	11,888	21,976	3,874	72,383			588,690	18.5%	
	うち職員給	12,320	120,538	79,073	29,816	46,456	9,801	17,657		44,305			359,966	11.3%	
	2 物件費	1,509	114,391	109,012	49,113	36,085	9,523	14,525	6,702	129,015			469,875	14.8%	
	3 維持補修費		146	1,743	3	679		4,437	203	1,748			8,959	0.3%	
	4 扶助費			235,609	377					4,152			240,138	7.5%	
	5 補助費等	165	95,253	24,117	51,467	102,471	15,122	4,236	79,348		12,981	5,862	391,022	12.3%	
	6 公債費											526,372	526,372	16.5%	
	7 積立金		13,039										13,039	0.4%	
	8 投資及び出資金														
	9 貸付金														
	10 繰出金		34	205,445			99,300		132,850					437,629	13.7%
財源内訳	11 投資的経費		76,784	49,661	2,323	52,143	10,314	213,872	12,409	86,339		3,945	507,790	16.0%	
	うち普通建設事業費		76,784	49,661	2,323		10,314	213,872	12,409	86,339			451,702	14.2%	
	うち災害復旧事業費											3,945	3,945	0.1%	
	歳出合計	61,127	528,149	721,513	138,769	349,201	47,526	391,896	102,536	306,618	532,234	3,945	3,183,514	100.0%	
財源内訳	国庫支出金		23,634	138,253	757		1,500	35,785		14,571			214,500	51,559	
	県支出金		27,400	74,736	1,212			1,213		661		2,417	107,639	6,000	
	使用料・手数料		4,013	30,131	10,874		44	2,901		2,735			50,698	31,688	
	分・負担金、寄附金		50	4,752			200			1,150			6,152	3,773	
	財産収入		927	37	7			15					986	10,653	
	繰入金														
	諸収入		18,458	2,771	1,830			465	2	3,184	4,407		181	31,298	8,570
	繰越金		500	944				591	3,029		4,865		89	10,018	206,553
	地方債		5,400					1,600	124,300	9,600	50,600		900	192,400	16,200
	一般財源	61,127	447,767	469,889	124,089	349,201	43,126	224,651	89,752	227,629	532,234	358	2,569,823	△334,996	
	歳計剰余金													363,035	363,035
歳入合計	61,127	528,149	721,513	138,769	349,201	47,526	391,896	102,536	306,618	532,234	3,945	3,183,514	3,546,549		

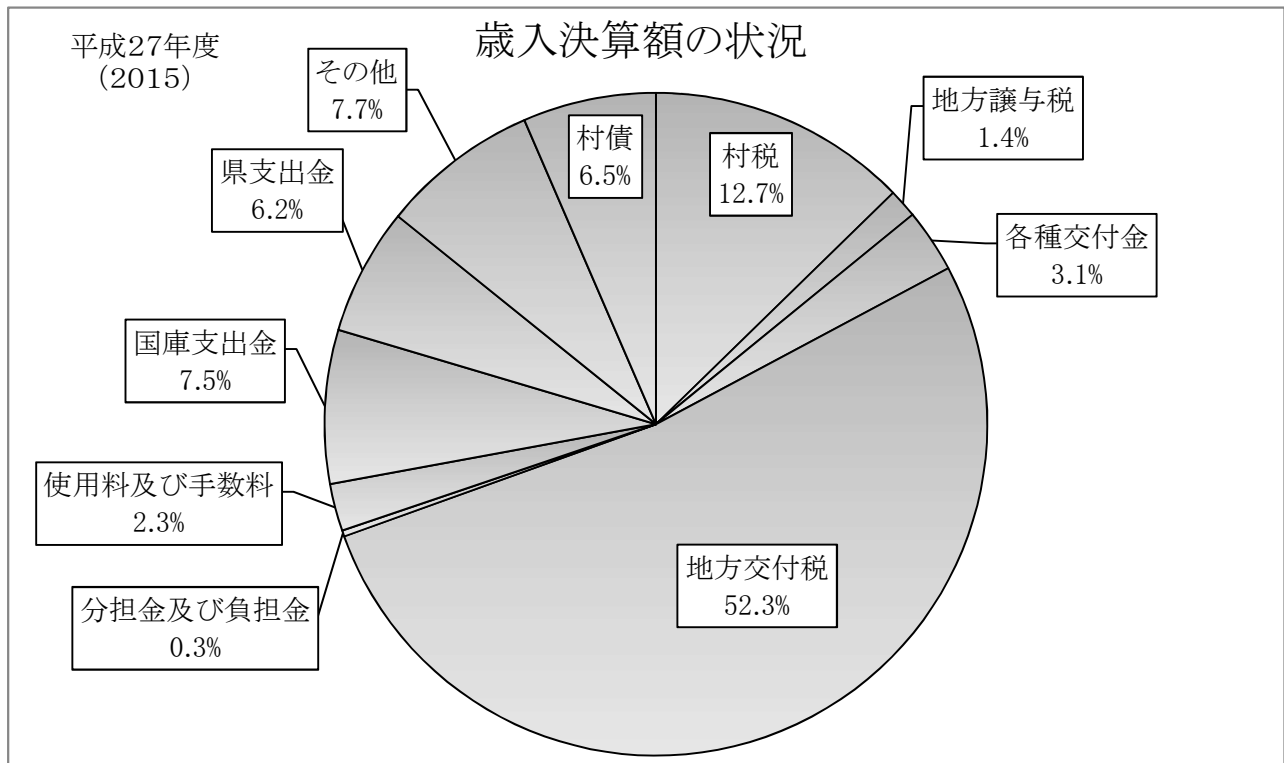
(平成27年度地方財政状況調査)

地 方 債 務 の 状 況

(単位:千円)

区分	平成26年度末 現在高	平成27年度 発行額	平成27年度元利償還額			平成27年度末 現在高(A)	構成比	(A)の借入先内訳	
			元金	利子	計			政府資金	その他
1 公共事業等債	51,470	2,400	1,685	331	2,016	52,185	1.7 %	52,185	
2 災害復旧事業債	10,393	900	2,596	88	2,684	8,697	0.3 %	8,697	
(1) 単独災害復旧事業債	2,878		370	13	383	2,508	0.1 %	2,508	
(2) 補助災害復旧事業債	7,515	900	2,226	75	2,301	6,189	0.2 %	6,189	
3 全国防災事業債	28,600	9,900		27	27	38,500	1.3 %	38,500	
4 教育・福祉施設等整備事業債	82,695		1,950	294	2,244	80,745	2.6 %	62,600	18,145
(1) 学校教育施設等整備事業債	53,400			50		53,400	1.7 %	53,400	
(2) 一般補助施設整備等事業債	14,300			109	109	14,300	0.5 %	9,200	5,100
(3) 施設整備事業債(一般財源化分)	14,995		1,950	135	2,085	13,045	0.4 %		13,045
5 一般単独事業債	51,184	54,200	4,413	300	4,713	100,971	3.3 %	1,873	99,098
うち地域活性化事業債		900				900	0.0 %		900
うち防災対策事業債		8,600				8,600	-		8,600
うち臨時地方道整備事業債	5,576		3,704	70	3,774	1,872	-	1,872	
うち緊急防災・減災事業債	38,100	44,700		139	139	82,800	2.7 %		82,800
6 辺地対策事業債	171,493	28,200	18,916	923	19,839	180,777	5.9 %	180,777	
7 過疎対策事業債	2,460,953	133,700	287,213	19,213	306,426	2,307,440	75.5 %	2,272,684	34,756
8 国の予算貸付・政府関係機関貸付債 (公有林整備事業債)	37,592		3,250	601	3,851	34,342	1.1 %		34,342
9 財源対策債	10,561		3,335	156	3,491	7,226	0.2 %	7,226	
10 減税補てん債	2,798		345	11	356	2,453	0.1 %	2,453	
11 臨時財政対策債	421,733		177,871	2,849	180,720	243,862	8.0 %	185,030	58,832
合 計	3,329,472	229,300	501,574	24,793	526,367	3,057,198	100.0 %	2,812,025	245,173

(平成27年度地方財政状況調査)



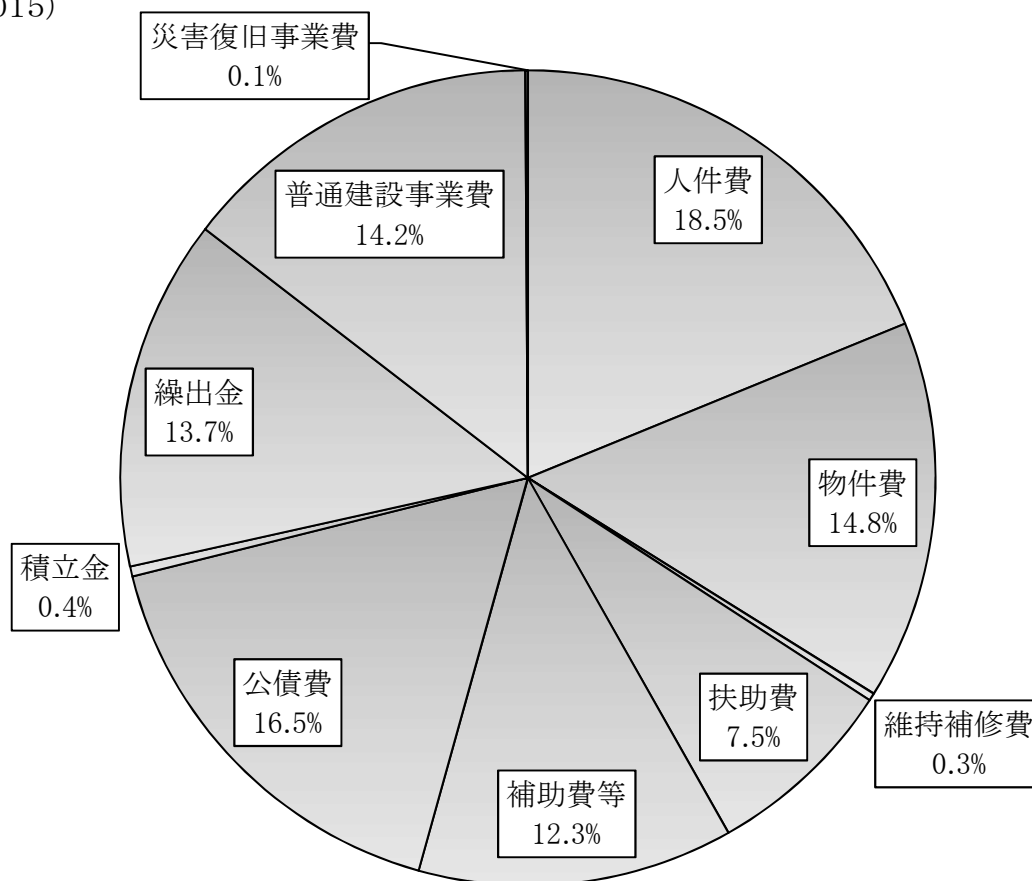
(単位:千円)

区 分	決算額	構成比	用語の説明
村税	451,333	12.7%	村民税(個人・法人)・固定資産税・軽自動車税・村たばこ税・入湯税
地方譲与税	50,671	1.4%	国税として徴収され、地方公共団体に譲与される税金(所得譲与税・地方道路譲与税・自動車重量譲与税)
各種交付金	106,627	3.1%	
利子割交付金	785	0.0%	利子所得に対する課税(20%)のうち県民税利子割5%の3/5(3%)が市町村に交付
配当割交付金	2,191	0.1%	配当所得に対する課税(10%)のうち県民税配当割3%の63.3%が市町村に交付
株式等譲渡所得割交付金	2,246	0.1%	特定株式等の譲渡所得に対する課税(10%)のうち県民税所得割3%の63.3%が市町村に交付
地方消費税交付金	89,581	2.5%	消費税5%のうち地方消費税(1%)の1/2が、人口・従業者比で市町村に交付
自動車取得税交付金	9,439	0.3%	自動車取得税のうち66.5%が、市町村の道路延長・面積比按分で交付
地方特例交付金	1,775	0.1%	H11からの恒久減税の補てん措置(減税補てん特例交付金)廃止に伴う経過措置としての特別交付金及びH18,H19の児童手当拡充に伴う地方負担補てん措置(児童手当特例交付金)
交通安全対策特別交付金	610	0.0%	道路安全施設に要する経費に充てるため、交通反則金の1/3が交付
地方交付税	1,854,522	52.3%	地方公共団体間の財政の不均衡を調整し、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるよう財源を補償するため国から交付
普通交付税	1,736,757	49.0%	基準財政需要額－基準財政収入額＝財源不足額(交付基準額)
特別交付税(震災復興分含)	117,765	3.3%	普通交付税で捕捉されない特別の財政需要(震災復興分)に対し交付
分担金及び負担金	10,719	0.3%	事業を行うことにより利益を受ける人が負担するもの(農地事業分担金・福祉事業利用負担金等)
使用料及び手数料	82,388	2.3%	公営住宅の住宅料、保育料や体育施設など公共施設の使用料 戸籍・住民票などの交付手数料〔※保育料は予算・決算では負担金〕
国庫支出金	266,059	7.5%	特定の事業に対し国からの給付金(負担金・補助金・委託金)
県支出金	219,279	6.2%	特定の事業に対し県からの給付金(負担金・補助金・委託金)
繰入金			特別会計、基金から一般会計への繰入
その他	275,651	7.7%	
財産収入	11,639	0.3%	公有財産のうち行政財産を除いた財産の貸付、出資、交換又は売却などにより生じた収入
寄附金	1,643	0.0%	
繰越金	216,714	6.1%	前年度の決算上の余剰金を受け入れるものをいう
諸収入	45,655	1.3%	他の歳入科目に組み入れることのできない収入(延滞金、加算金、貸付金返済金、預金利子・雑入など)
村債	229,300	6.5%	事業を行うための借入金
合 計	3,546,549	100.0%	

(平成27年度地方財政状況調査)

平成27年度
(2015)

性質別歳出決算額の状況



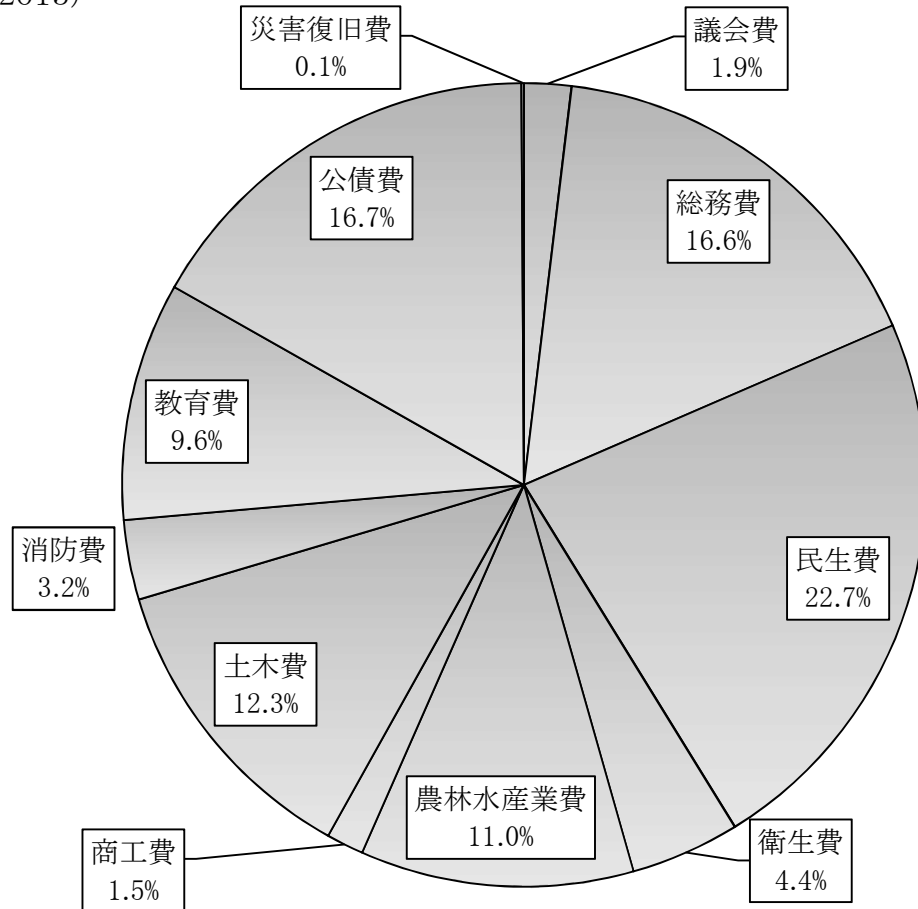
(単位:千円)

区 分	決算額	構成比	用語の説明
人件費	588,690	18.5%	議員報酬・特別職給与・職員給与・委員等報酬・共済費・退職負担金・互助会補助金など
物件費	469,875	14.8%	賃金・旅費・交際費・需用費(維持補修費を除く)・役務費・備品購入費・委託料・使用料・賃借料・原材料費など
維持補修費	8,959	0.3%	村が管理する公共用または公共施設等における維持や補修にかかる経費
扶助費	240,138	7.5%	社会保障制度の一環として現金や物品などを支給する費用
補助費等	391,022	12.3%	負担金・補助及び交付金、報償費、火災・自動車損害保険料、寄付金、公課費など
公債費	526,372	16.5%	事業を行うための借入金の返済金や利子
積立金	13,039	0.4%	基金等に積み立てた費用
繰出金	437,629	13.7%	一般会計から特別会計等に繰出した費用
投資的経費	507,790	16.0%	社会資本の整備に要する経費 (普通建設費、災害復旧費)
普通建設事業費	451,702	14.2%	道路、学校、公営住宅などの新築・改築・改良などの建設事業に要する費用(工事費の他、設計委託料、事務費、人件費等も含む)
災害復旧事業費	3,945	0.1%	災害復旧に要する費用 (道路、河川、農地、農業用施設、林道など)
合 計	3,183,514	100.0%	

(平成27年度地方財政状況調査)

平成27年度
(2015)

目的別歳出決算額の状況



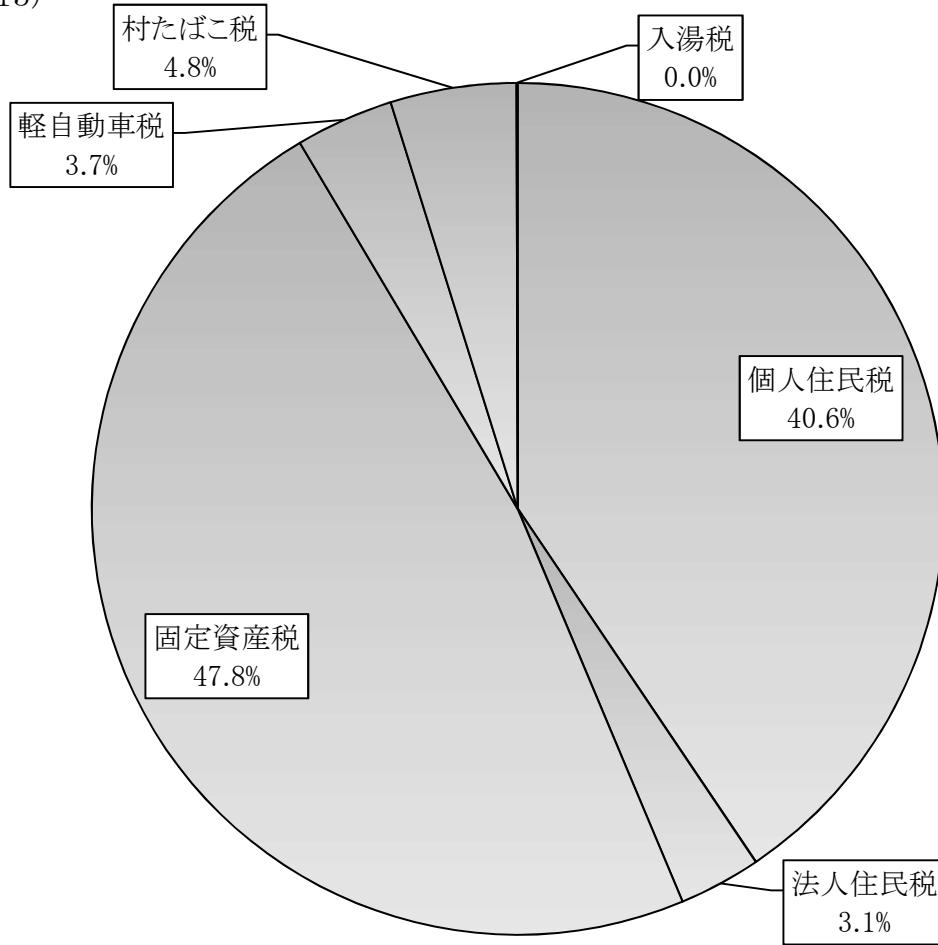
(単位:千円)

区 分	決算額	構成比	用語の説明
議 会 費	61,127	1.9%	議会の活動に要する経費
総 務 費	528,149	16.6%	村の全般的な管理、企画、財政、徴税、選挙、戸籍・住民票事務、統計、交通安全、防犯、防災などの経費
民 生 費	721,513	22.7%	高齢者・児童・障害者の福祉や生活保護、福祉医療、国民年金などの経費(国保・老人・介護保険特別会計への支出も含む)
衛 生 費	138,769	4.4%	成人老人保健、母子保健、ごみ処理、環境保全などの経費
農 林 水 産 業 費	349,201	11.0%	農業・林業の振興に要する経費 (農集排特別会計への支出も含む)
商 工 費	47,526	1.5%	商工業振興、観光事業に要する経費
土 木 費	391,896	12.3%	道路・公園・村営住宅などの事業に要する経費 (公共下水道特別会計への支出も含む)
消 防 費	102,536	3.2%	消防(常備消防・非常備消防)に要する経費
教 育 費	306,618	9.6%	学校教育、社会教育、社会体育に要する経費
公 債 費	532,234	16.7%	借り入れた村債の元金・利子などの償還金
災 害 復 旧 費	3,945	0.1%	災害復旧に要する経費
合 計	3,183,514	100.0%	

(平成27年度地方財政状況調査)

平成27年度
(2015)

税収入の状況



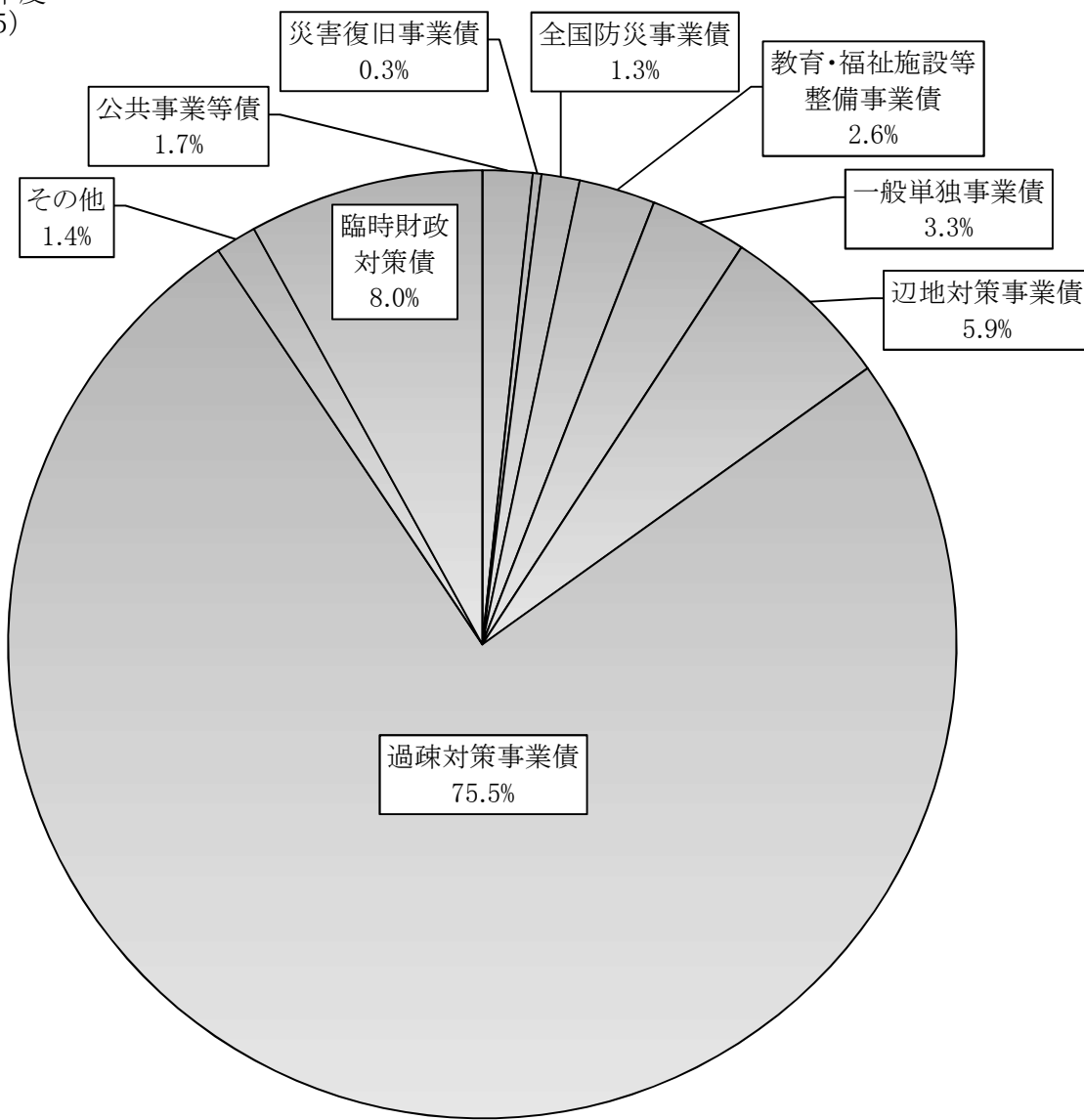
(単位:千円)

税目	決算額	構成比	備考
村民税	197,133	43.7%	
個人均等割	8,884	2.0%	
所得割	174,163	38.6%	
(個人計)	(183,047)	(40.6%)	
法人均等割	9,073	2.0%	
法人税割	5,013	1.1%	
(法人計)	(14,086)	(3.1%)	
固定資産税	215,636	47.8%	
純固定資産税	209,133	46.3%	土地・家屋・償却資産
国有資産等所在市町村 交付金	6,503	1.4%	交付金(国交省・森林管理局・県企業局) 納付金(日本郵政公社)
軽自動車税	16,790	3.7%	
村たばこ税	21,560	4.8%	
入湯税	214	0.0%	
合計	451,333	100.0%	

(平成27年度地方財政状況調査)

平成27年度
(2015)

地方債事業別現在高の状況(一般会計)



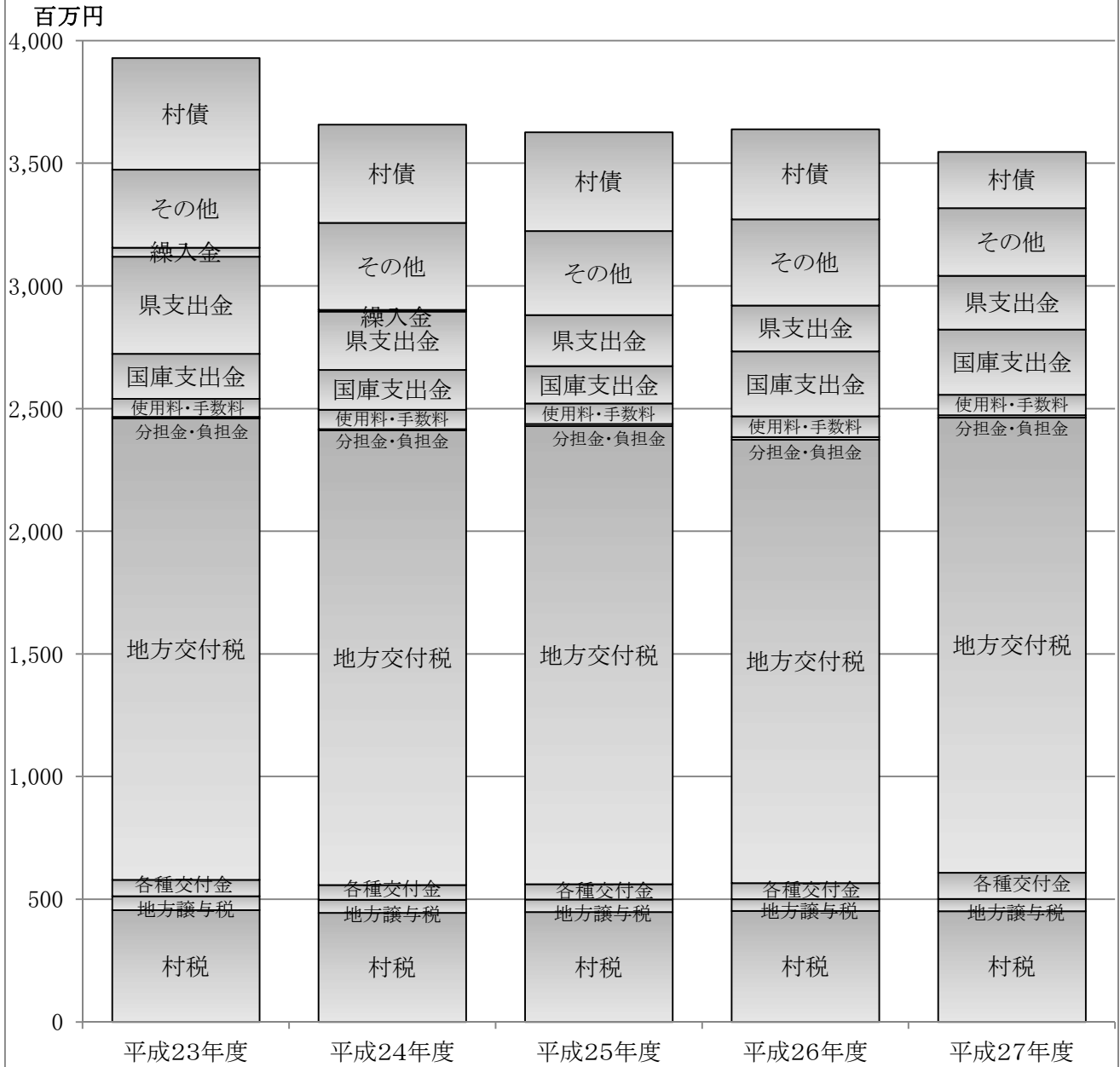
(単位:千円)

区 分	現在高	構成比	区 分	現在高	構成比	
公共事業等債	52,185	1.7%	その他	44,021	1.4%	
災害復旧事業債	8,697	0.3%		国の予算貸付・政府関係機関貸付債(公有林整備事業債)	34,342	1.1%
全国防災事業債	38,500	1.3%		財源対策債	7,226	0.2%
教育・福祉施設等整備事業債	80,745	2.6%		減税補てん債	2,453	0.1%
一般単独事業債	100,971	3.3%	臨時財政対策債	243,862	8.0%	
辺地対策事業債	180,777	5.9%	合 計	3,057,198	100.0%	
過疎対策事業債	2,307,440	75.5%				

(平成27年度地方財政状況調査)

平成27年度
(2015)

歳入決算額の推移



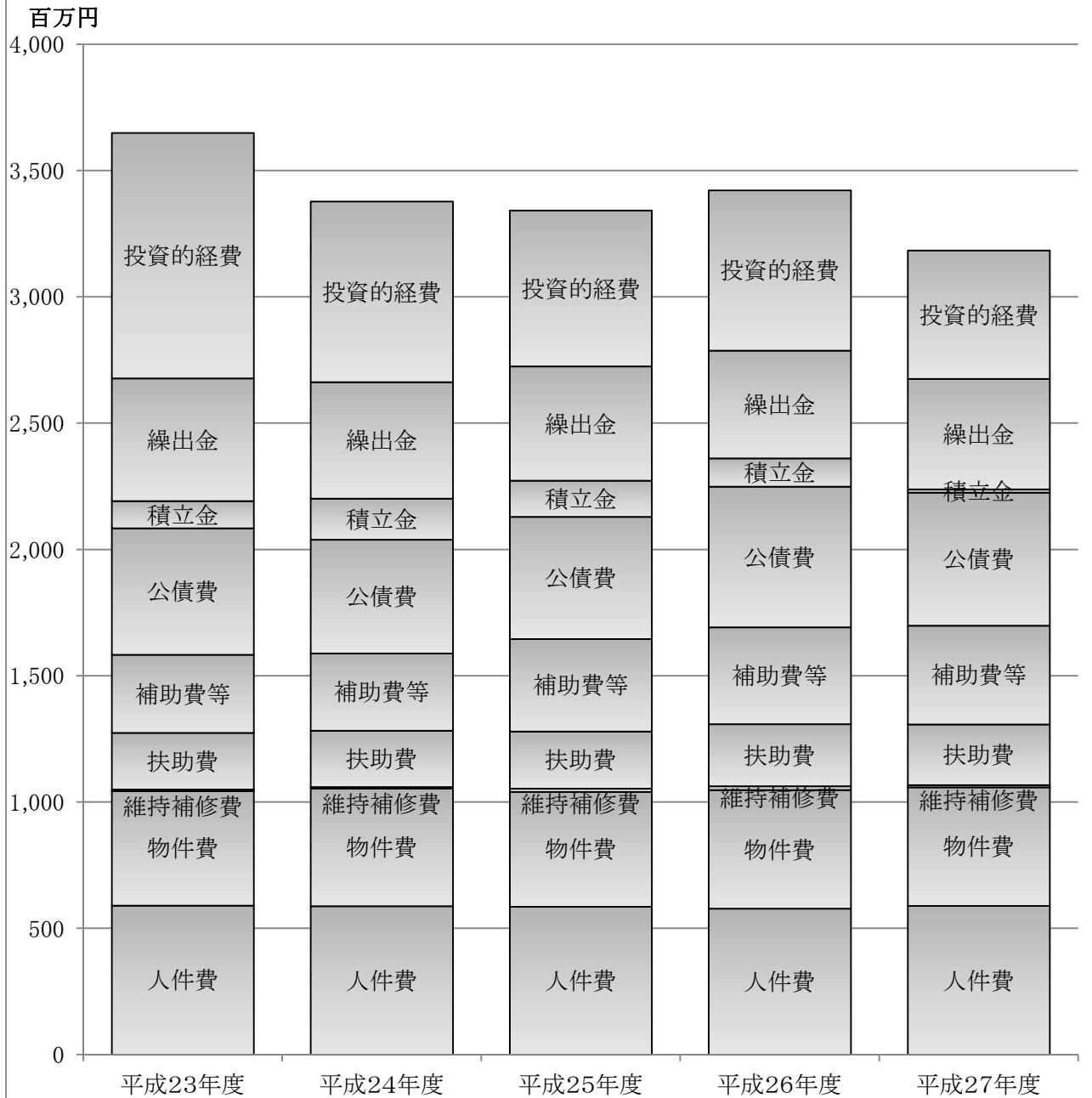
(単位:千円・%)

区 分	平成23年度 (対前年比)		平成24年度 (対前年比)		平成25年度 (対前年比)		平成26年度 (対前年比)		平成27年度 (対前年比)	
村 税	456,238	2.9	444,335	△ 2.6	447,930	0.8	452,187	1.0	451,333	△ 0.2
地 方 譲 与 税	56,433	△ 2.4	53,485	△ 5.2	50,954	△ 4.7	48,527	△ 4.8	50,671	4.4
各 種 交 付 金	66,829	△ 6.5	60,295	△ 9.8	62,662	3.9	65,529	4.6	106,627	62.7
地 方 交 付 税	1,880,245	3.0	1,853,939	△ 1.4	1,866,748	0.7	1,807,102	△ 3.2	1,854,522	2.6
分 担 金 及 び 負 担 金	6,590	9.4	5,054	△ 23.3	9,460	87.2	11,151	17.9	10,719	△ 3.9
使 用 料 及 び 手 数 料	73,799	△ 4.7	78,372	6.2	83,191	6.1	84,198	1.2	82,388	△ 2.1
国 庫 支 出 金	183,081	△ 66.1	162,972	△ 11.0	152,588	△ 6.4	264,560	73.4	266,059	0.6
県 支 出 金	396,622	△ 8.0	237,262	△ 40.2	207,820	△ 12.4	187,373	△ 9.8	219,279	17.0
繰 入 金	36,104	皆増	6,806	△ 81.1		皆減				
そ の 他	318,142	41.1	354,476	11.4	342,117	△ 3.5	351,173	2.6	275,651	△ 21.5
村 債	455,300	43.8	400,850	△ 12.0	402,700	0.5	367,300	△ 8.8	229,300	△ 37.6
合 計	3,929,383	△ 1.6	3,657,846	△ 6.9	3,626,170	△ 0.9	3,639,100	0.4	3,546,549	△ 2.5

(平成27年度地方財政状況調査)

平成27年度
(2015)

性質別歳出決算額の推移



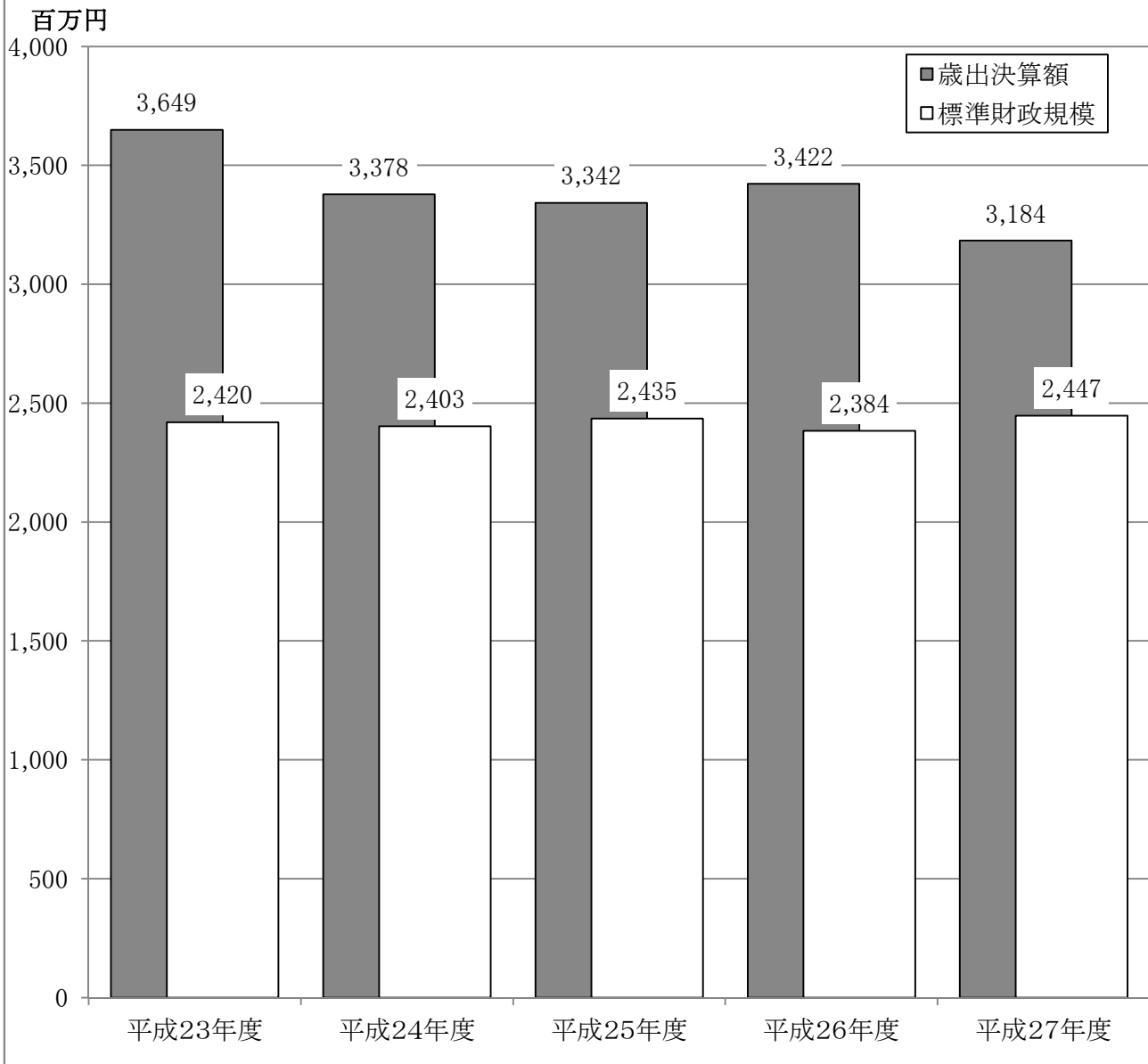
(単位:千円・%)

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		(対前年比)		(対前年比)		(対前年比)		(対前年比)		(対前年比)
人件費	590,424	△ 2.7	587,731	△ 0.5	585,439	△ 0.4	577,741	△ 1.3	588,690	1.9
物件費	453,126	6.2	465,640	2.8	455,021	△ 2.3	469,732	3.2	469,875	0.0
維持補修費	5,966	△ 14.3	6,126	2.7	13,263	116.5	15,613	17.7	8,959	△ 42.6
扶助費	224,569	12.5	223,188	△ 0.6	225,888	1.2	245,578	8.7	240,138	△ 2.2
補助費等	308,641	△ 26.0	305,970	△ 0.9	366,037	19.6	383,066	4.7	391,022	2.1
公債費	500,949	△ 6.9	449,716	△ 10.2	483,928	7.6	556,832	15.1	526,372	△ 5.5
積立金	108,451	△ 19.0	163,323	50.6	142,756	△ 12.6	112,867	△ 20.9	13,039	△ 88.4
繰出金	485,409	9.6	460,697	△ 5.1	452,298	△ 1.8	425,790	△ 5.9	437,629	2.8
投資及び出資金										
投資的経費	971,650	△ 0.6	715,124	△ 26.4	617,270	△ 13.7	635,167	2.9	507,790	△ 20.1
合計	3,649,185	△ 2.7	3,377,515	△ 7.4	3,341,900	△ 1.1	3,422,386	2.4	3,183,514	△ 7.0

(平成27年度地方財政状況調査)

平成27年度
(2015)

歳出決算額及び標準財政規模の推移



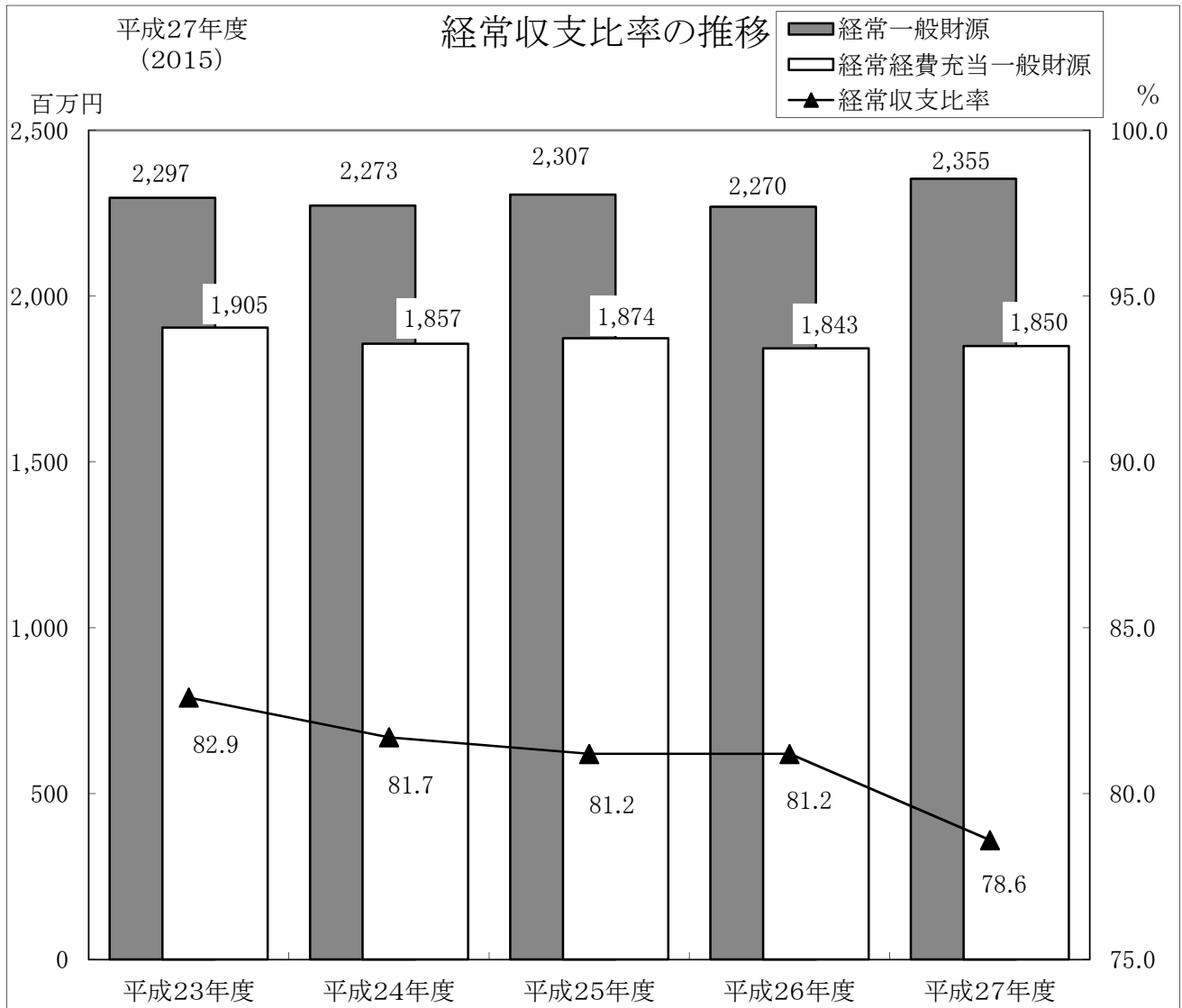
(単位:千円・%)

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	対前年比
歳出決算額	3,649,185	3,377,515	3,341,900	3,422,386	3,183,514	△ 7.0
標準財政規模	2,419,803	2,402,565	2,435,226	2,383,927	2,447,240	2.7

(平成27年度地方財政状況調査)

$$\text{標準財政規模} = \underbrace{\left(\frac{\text{地方道路譲与税} + \text{自動車重量譲与税} + \text{交安対策特別交付金等}}{\text{基準財政収入額}} \right) \times \frac{100}{75}}_{\text{標準税収入額等}} + \frac{\text{地方道路譲与税} + \text{自動車重量譲与税} + \text{普通交付税} + \text{交安対策特別交付金等}}{\text{基準財政収入額}}$$

〔標準財政規模〕 地方公共団体の一般財源の標準規模を示すもの。
(標準的な行政活動を行うために必要な経費に見合う標準的な財源(経常的一般財源)の総額)



(単位:千円・%)

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	対前年比
経常一般財源等	2,297,015	2,273,131	2,306,802	2,269,501	2,354,554	3.7
経常的経費充当一般財源	1,905,227	1,857,164	1,873,741	1,843,199	1,850,087	0.4
経常収支比率	82.9	81.7	81.2	81.2	78.6	△ 2.6

(平成27年度地方財政状況調査)

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常的経費充当一般財源額(支出)}}{\text{経常一般財源総額(収入) + 減税補てん債 + 臨時財政対策債}} \times 100$$

※平成13年度から算定方式が変わり、算式の分母に減税補てん債及び臨時財政対策債(臨時的収入)が加算された。

[経常収支比率]

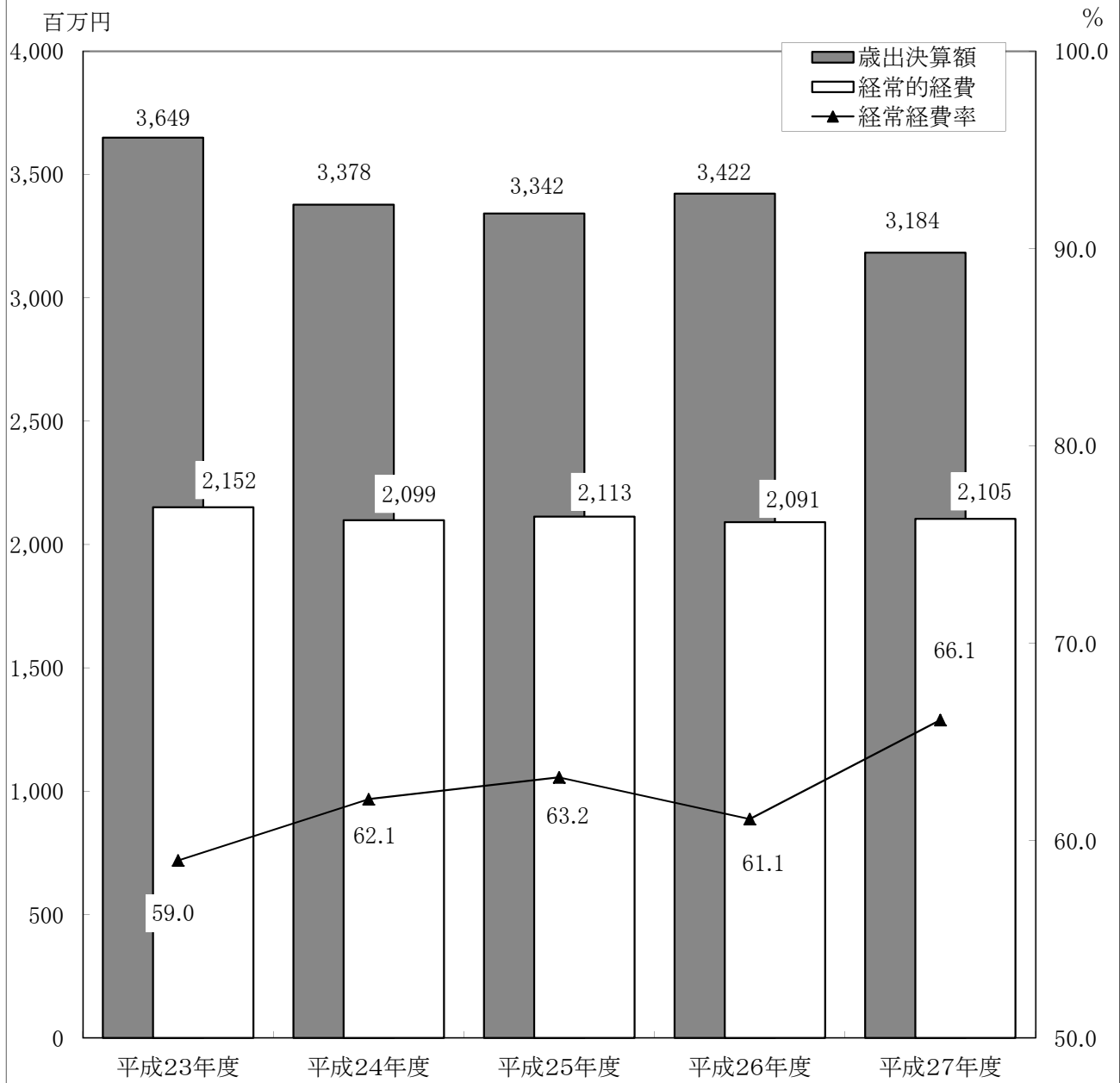
人件費・扶助費・公債費などの経常的経費に充当された一般財源の額(※1)が、地方税・地方交付税など毎年連続して収入となる経常一般財源(※2)、減税補てん債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合であり、財政構造の弾力性を測定する最も一般的な指標である。

この率が低いほど、普通建設費等の臨時的経費に充当できる一般財源があり、財政構造が弾力性に富んでいることとなる。一般的には市80%、町村は75%を超えた場合、財政構造の硬直化が進んでいるといわれ、その原因を分析し経常経費の抑制を図る必要がある。

※経常的経費充当一般財源 = 人件費・物件費・維持補修費・扶助費・補助費・公債費のうち臨時的なものを控除した額

※経常一般財源 = 普通税・地方譲与税・普通交付税・自動車取得税交付金・交通安全対策特別交付金等及び経常的な収入の使用料手数料・財産収入・諸収入等の一般財源

経常的経費の推移



(単位:千円・%)

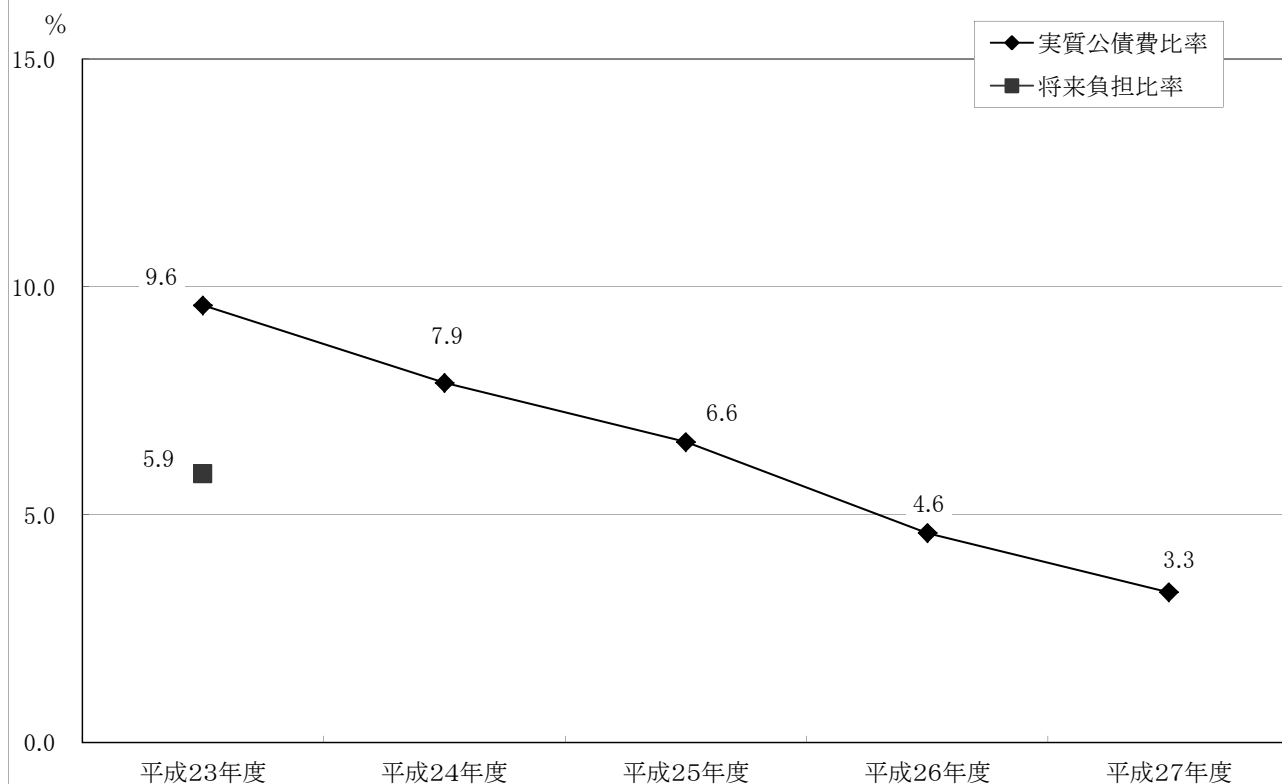
区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	対前年比
歳出決算額	3,649,185	3,377,515	3,341,900	3,422,386	3,183,514	△ 7.0
経常的経費	2,152,076	2,098,933	2,113,120	2,091,353	2,104,687	0.6
経常経費率	59.0	62.1	63.2	61.1	66.1	5.0

(平成27年度地方財政状況調査)

〔経常的経費〕 地方公共団体において、毎年度、持続的かつ固定的に支出される経費のことをいい、通常、人件費・物件費・維持補修費・扶助費・補助費等・公債費をいう。

平成27年度
(2015)

実質公債費比率・将来負担比率の推移



(単位: %)

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	対前年比
実質公債費比率	9.6	7.9	6.6	4.6	3.3	△ 1.3
将来負担比率	5.9					

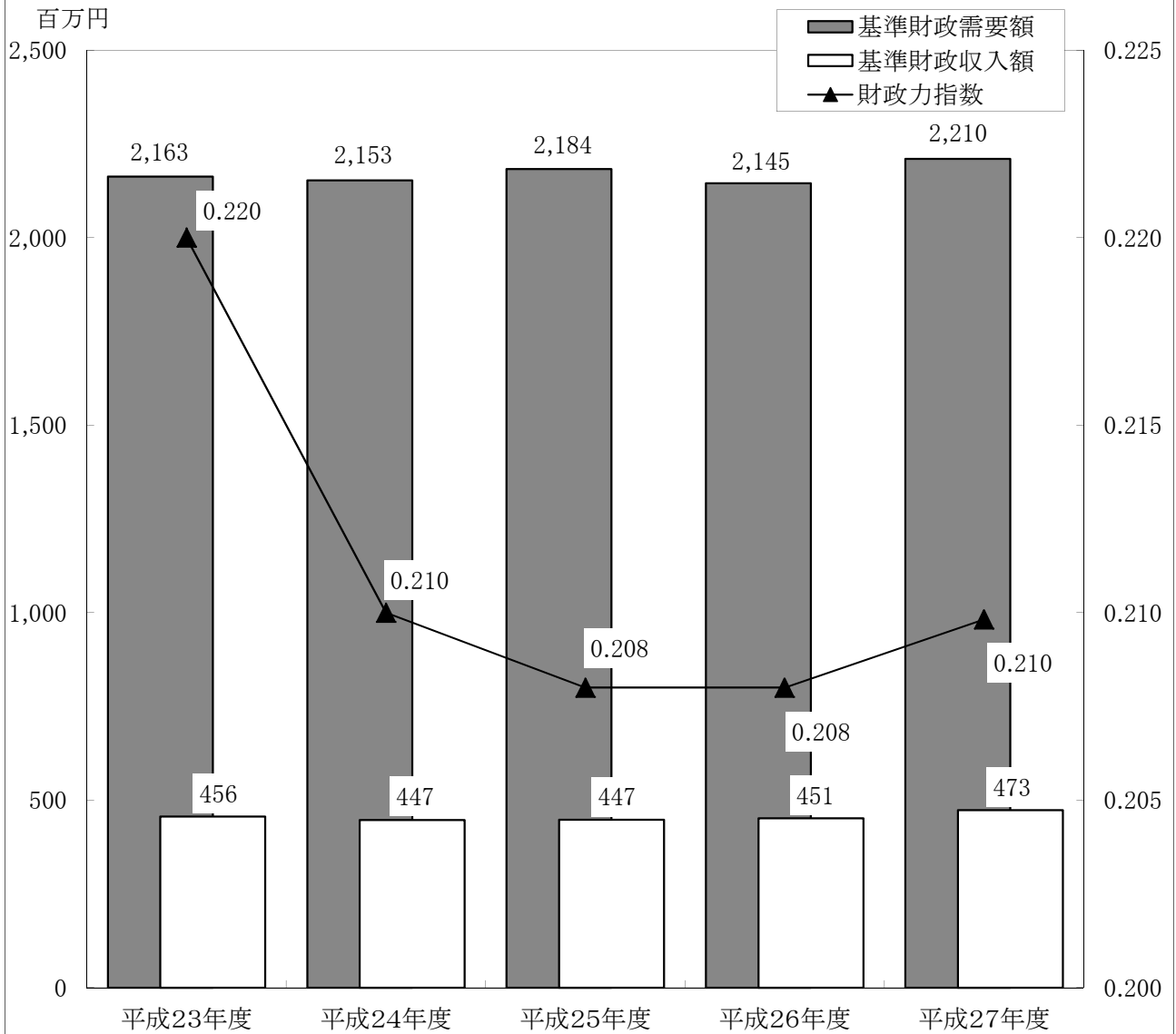
(平成27年度健全化判断比率)

$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{元利償還金} + \text{準元利償還金} - \text{特定財源} - \frac{\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}{\text{標準財政規模} - \frac{\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}}{\text{標準財政規模} - \frac{\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}$
<p>〔実質公債費比率〕 「元利償還金の水準」を測る指標で、市場の信頼や公平性の確保、透明化、明確化の観点から、現行の起債制限比率に、公営企業への公債費返済のための一般会計からの繰出金、一部事務組合の負担金等のうち公債費相当額などを加えた指標(H17地方財政状況調査から創設)、上記算式による過去3ヶ年の平均をいう。</p> <p>18%を超えると起債借入に許可が必要となり(起債の借入は、H18から協議制度となった。)、25%を超えると単独事業の起債が基本的にできなくなる。</p> <p>※ 準元利償還金 = 公営企業債の償還に充てたと認められる繰入金、一部事務組合等の地方債の元利償還金に対する負担金等、債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準じるもの</p> <p>※ 標準財政規模 = 標準税収入額 + 普通交付税の額</p>

$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} + \text{充当可能基金額} - \text{特定財源見込額} - \frac{\text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額}}{\text{標準財政規模} - \frac{\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}}{\text{標準財政規模} - \frac{\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}$
<p>〔将来負担比率〕 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率であり、これらの負債が将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すストック指標。</p> <p>この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高くなる。</p> <p>※ 将来負担額 = 地方債現在高、債務負担行為支出予定額、公営企業債等繰入見込額、組合等負担等見込額、退職手当負担見込額、設立法人の負債額等負担見込額、連結実質赤字額、組合等連結実質赤字額負担見込額</p>

平成27年度
(2015)

財政力指数の推移



(単位: 千円・%)

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	(対前年比)		(対前年比)		(対前年比)		(対前年比)		(対前年比)	
基準財政需要額	2,163,307	2.6	2,152,780	△ 0.5	2,183,532	1.4	2,145,177	△ 1.8	2,210,191	3.0
基準財政収入額	456,051	2.4	446,798	△ 2.0	447,299	0.1	451,357	0.9	473,434	4.9
普通交付税決定額	1,707,256	2.6	1,705,982	△ 0.1	1,736,233	1.8	1,693,820	△ 2.4	1,736,757	2.5
財政力指数	0.220		0.210		0.208		0.208		0.210	

(平成27年度地方財政状況調査)

〔基準財政需要額〕 普通交付税の算定の基礎となるもので、各地方公共団体が合理的で妥当な水準の行政サービス等を実施し、または施設を維持するために必要と想定される財政需要を、一定の算式により算定した額をいう。

〔基準財政収入額〕 普通交付税の算定の基礎となるもので、各地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の算式により算定した額をいう。

〔普通交付税決定額〕 (基準財政需要額－臨時財政対策債振替相当額＋錯誤措置額)－(基準財政収入額＋錯誤措置額)

〔財政力指数〕 地方公共団体の財政力を示す指標であり、地方交付税法の規定により算出した基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値をいう。
「1」に近くあるいは「1」を超えるほど財源に余裕があるものとされ、「1」を超えると普通交付税の不交付団体となる。

平成27年度 国民健康保険事業特別会計決算

歳入総額	570,490	千円
歳出総額	556,986	千円
差引額	13,504	千円

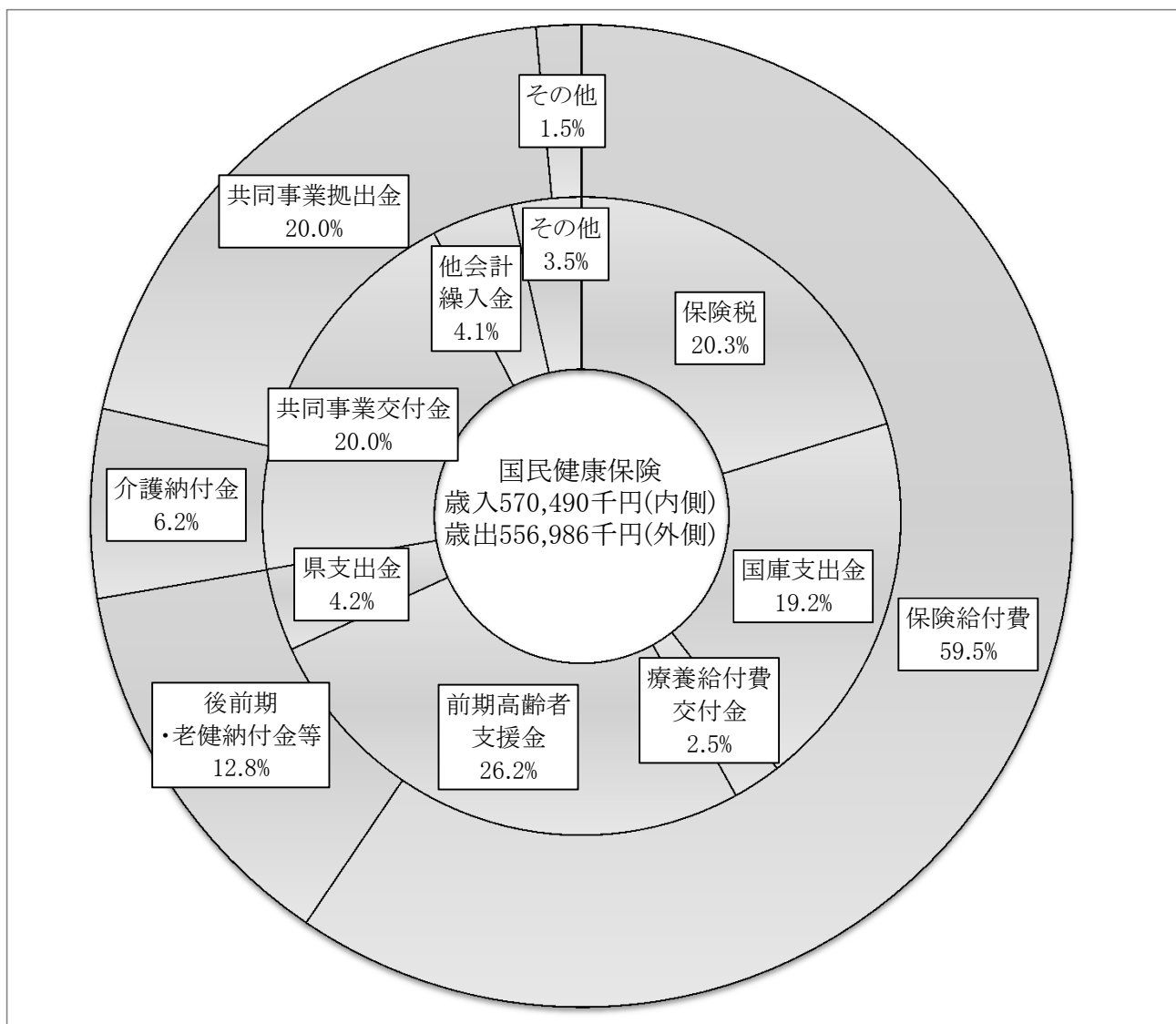
歳入

科目	金額	構成比
1 国民健康保険税	115,773	20.3
5 国庫支出金	109,640	19.2
6 療養給付費交付金	14,010	2.5
7 前期高齢者支援金	149,309	26.2
8 県支出金	23,848	4.2
10 共同事業交付金	114,244	20.0
13 他会計繰入金	23,507	4.1
その他	20,159	3.5
財産、繰越金、諸収入		
計	570,490	100.0

歳出

(単位:千円・%)

科目	金額	構成比
2 保険給付費	331,589	59.5
3 後前期高齢、老健納付	70,963	12.8
4 介護納付金	34,755	6.2
5 共同事業拠出金	111,387	20.0
その他	8,292	1.5
総務、保健、基金、公債、諸支出		
計	556,986	100.0



歳入決算総額は570,490千円、前年度比61,224千円、12.0%の増額決算となりました。

歳出決算総額は556,986千円、前年度比67,805千円、13.9%の増額決算となりました。

増額の主な理由は、平成27年度の制度改正による「保健財政共同安定化事業」の対象となる医療費が拡大されたことで、歳入では共同事業交付金が114,244千円、前年度比71,793千円、169.1%の増額、歳出では共同事業拠出金が111,387千円、前年度比66,365千円、147.4%の増額となり、構成比では歳入歳出ともに全体の20.0%を占めています。

平成27年度 後期高齢者医療特別会計決算

歳入総額	48,575	千円
歳出総額	48,569	千円
差引額	6	千円

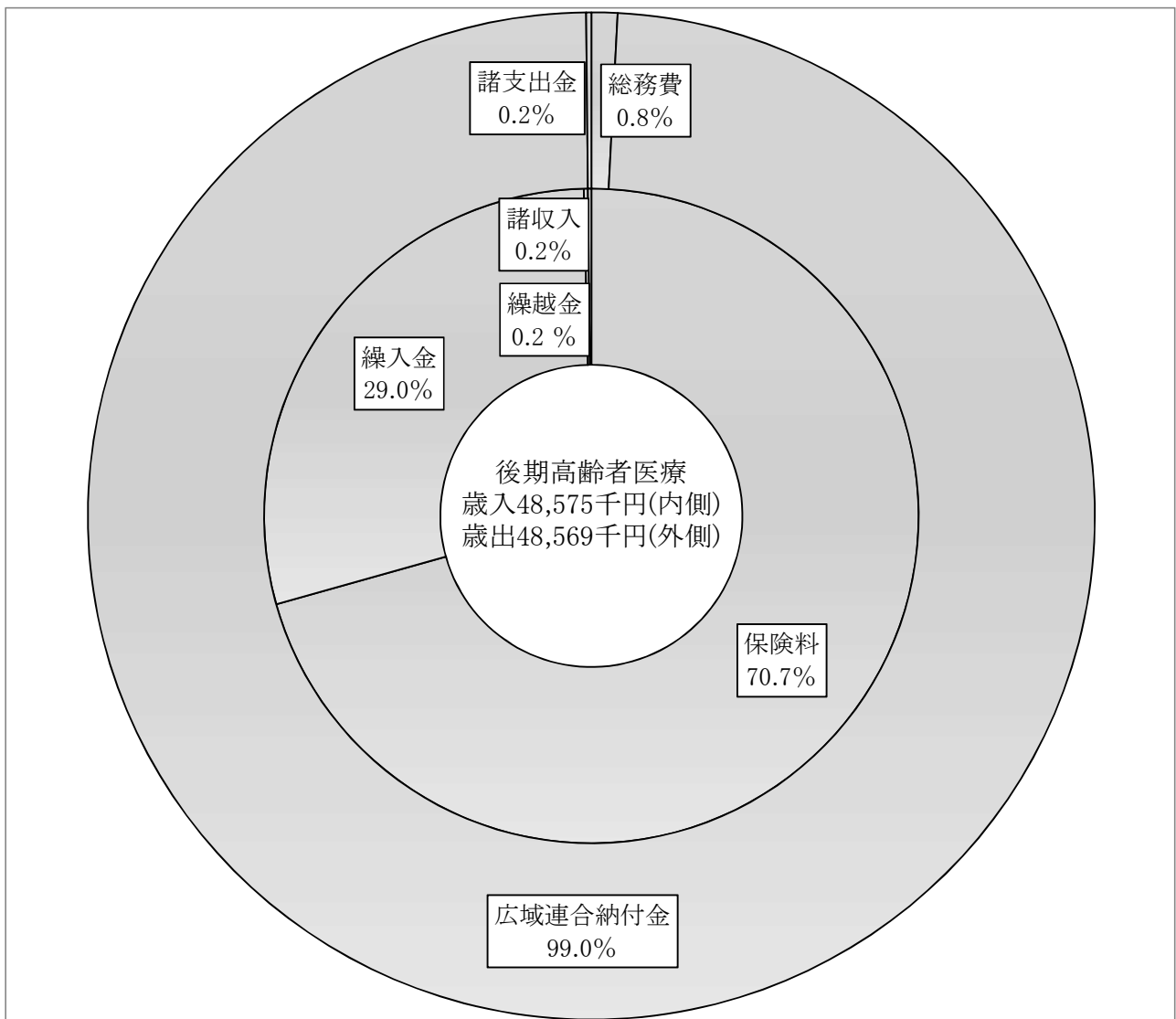
歳入

科目	金額	構成比
1 後期高齢者医療保険料	34,304	70.7
4 繰入金	14,093	29.0
5 繰越金	98	0.2
6 諸収入	80	0.2
計	48,575	100.0

歳出

(単位:千円・%)

科目	金額	構成比
1 総務費	406	0.8
2 後期高齢者医療広域連合納付金	48,083	99.0
3 諸支出金	80	0.2
計	48,569	100.0



歳入決算総額は48,575千円、前年度比2,718千円、5.9%の増額決算となりました。
 歳出決算総額は48,569千円、前年度比2,810千円、6.1%の増額決算となりました。
 保険料及び基盤安定分の広域連合納付金が48,083千円、前年度比 2,730千円、5.6%の増額
 となっています。

平成27年度 介護保険事業特別会計決算

歳入総額	600,464	千円
歳出総額	594,927	千円
差引額	5,537	千円

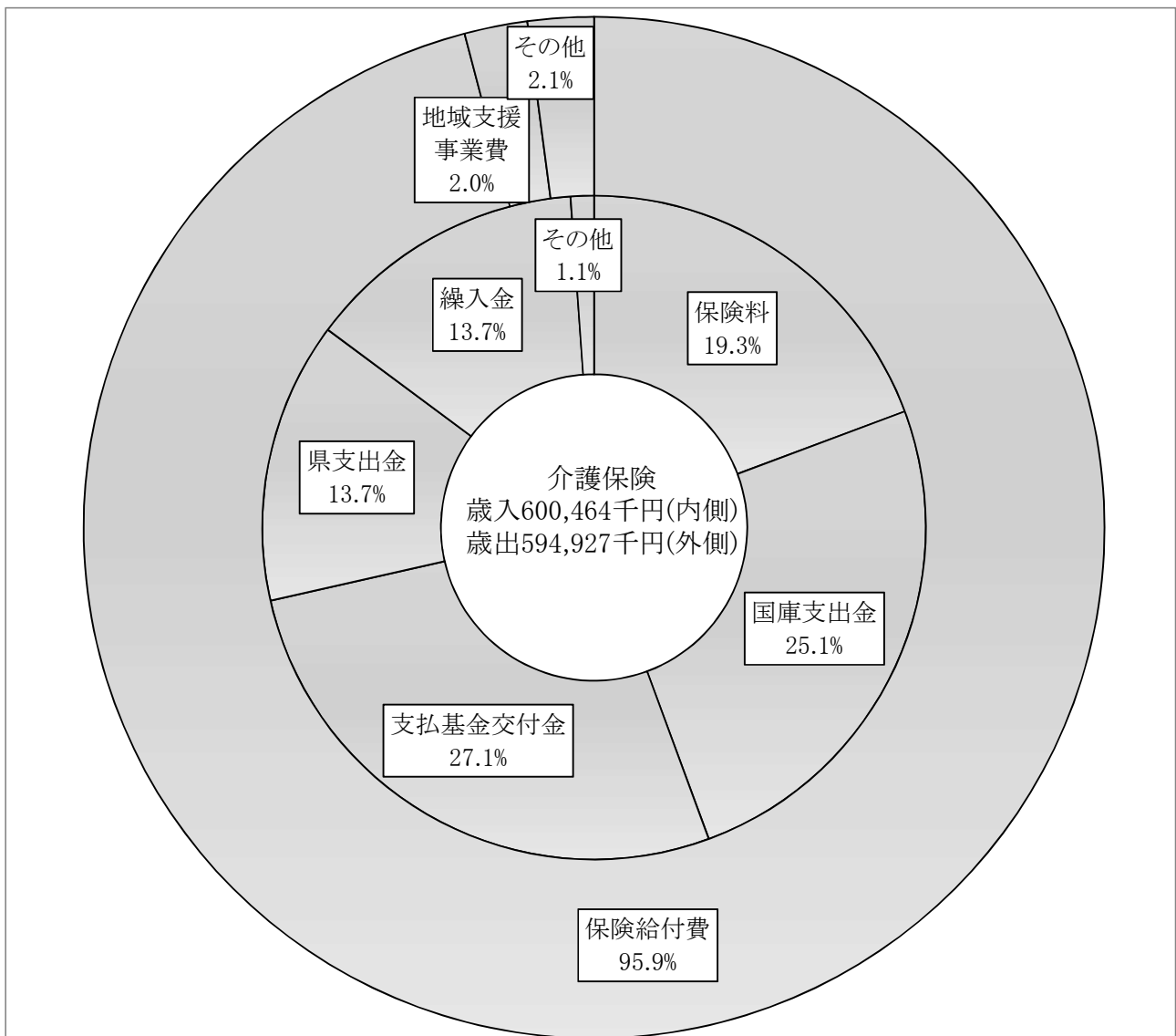
歳入

科目	金額	構成比
1 介護保険料	115,944	19.3
4 国庫支出金	150,529	25.1
5 支払基金交付金	162,615	27.1
6 県支出金	82,290	13.7
9 繰入金	82,270	13.7
その他	6,816	1.1
財産、繰越金、諸収入		
計	600,464	100.0

歳出

(単位:千円・%)

科目	金額	構成比
2 保険給付費	570,643	95.9
5 地域支援事業費	11,869	2.0
その他	12,415	2.1
総務、基金、公債、諸支出		
計	594,927	100.0



歳入決算総額は600,464千円、前年度比13,276千円、2.3%の増額決算となりました。保険料の改定により115,944千円、前年度比17,983千円、18.4%の増額でしたが認定者数・給付費等の伸びにより支払準備基金から2,010千円の繰入を要することになりました。

歳出決算総額は594,927千円、前年度比12,587千円、2.2%の増額決算となりました。

増額の主な理由としては、給付費の伸びにより保険給付費が570,643千円、前年度比11,998千円、2.1%の増額で、前年度比の内訳は、介護・支援サービス給付費が11,467千円、高額介護サービス費が537千円のそれぞれ増となっています。

平成27年度 公共下水道事業特別会計決算

歳入総額	200,017	千円
歳出総額	199,147	千円
差引額	870	千円

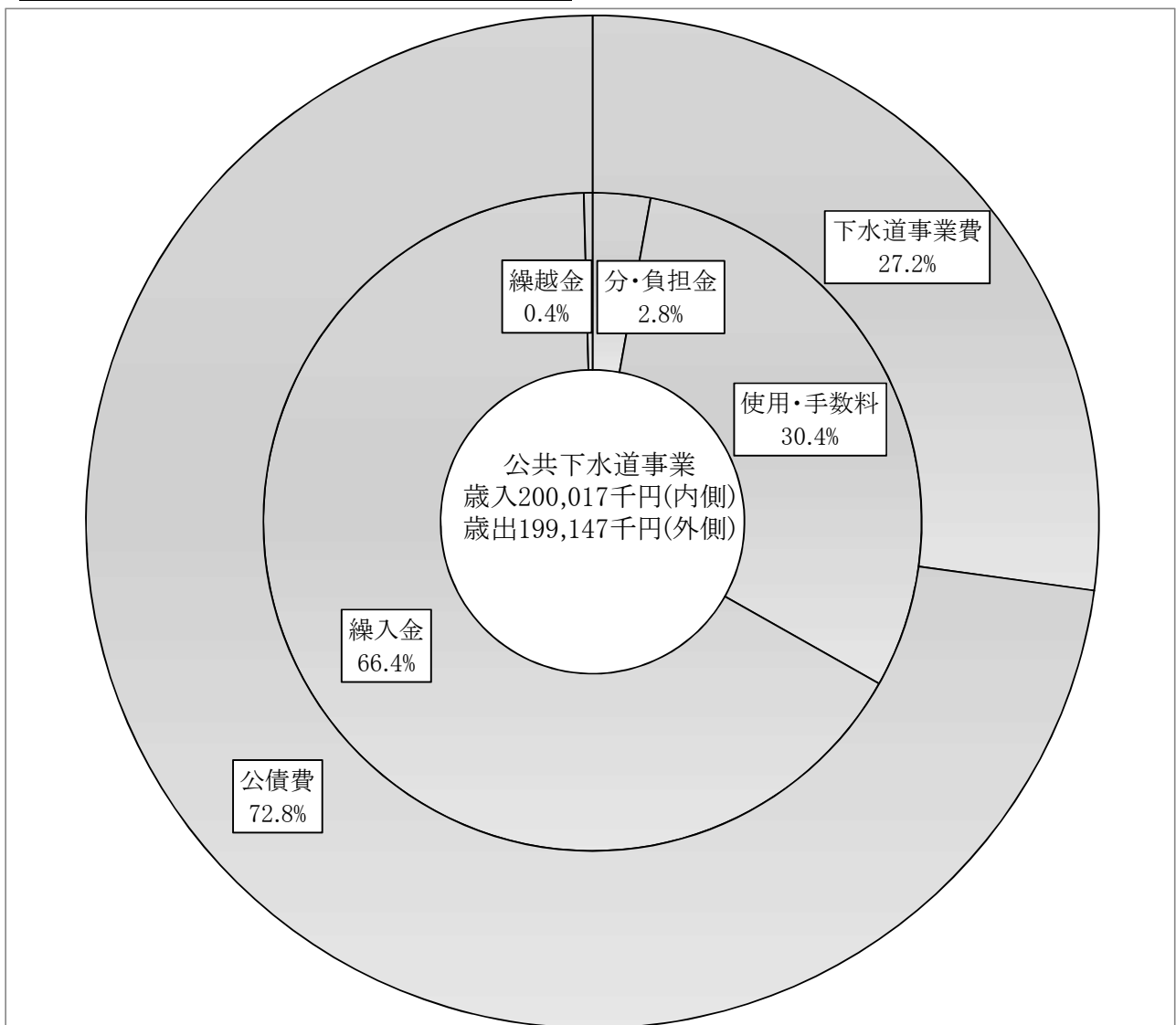
歳入

科目	金額	構成比
1 分担金及び負担金	5,660	2.8
2 使用料及び手数料	60,707	30.4
7 繰入金	132,800	66.4
8 繰越金	850	0.4
計	200,017	100.0

歳出

(単位:千円・%)

科目	金額	構成比
1 下水道事業費	54,108	27.2
2 公債費	145,039	72.8
計	199,147	100.0



歳入決算総額は200,017千円で、前年度比793千円、0.4%の増額決算となりました。

一般会計からの繰入金が132,800千円と大きな割合を占めています。

歳出決算総額は199,147千円、前年度比772千円、0.4%の増額決算となりました。

維持管理主体の事業構成ですが、建設当時の借入金にかかる公債費が、徐々に減っていますが、大きな割合を占めています。

水洗化率は90.1%と、前年度に比べ1.0%伸びています。

平成27年度 農業集落排水事業特別会計決算

歳入総額	123,654	千円
歳出総額	122,676	千円
差引額	978	千円

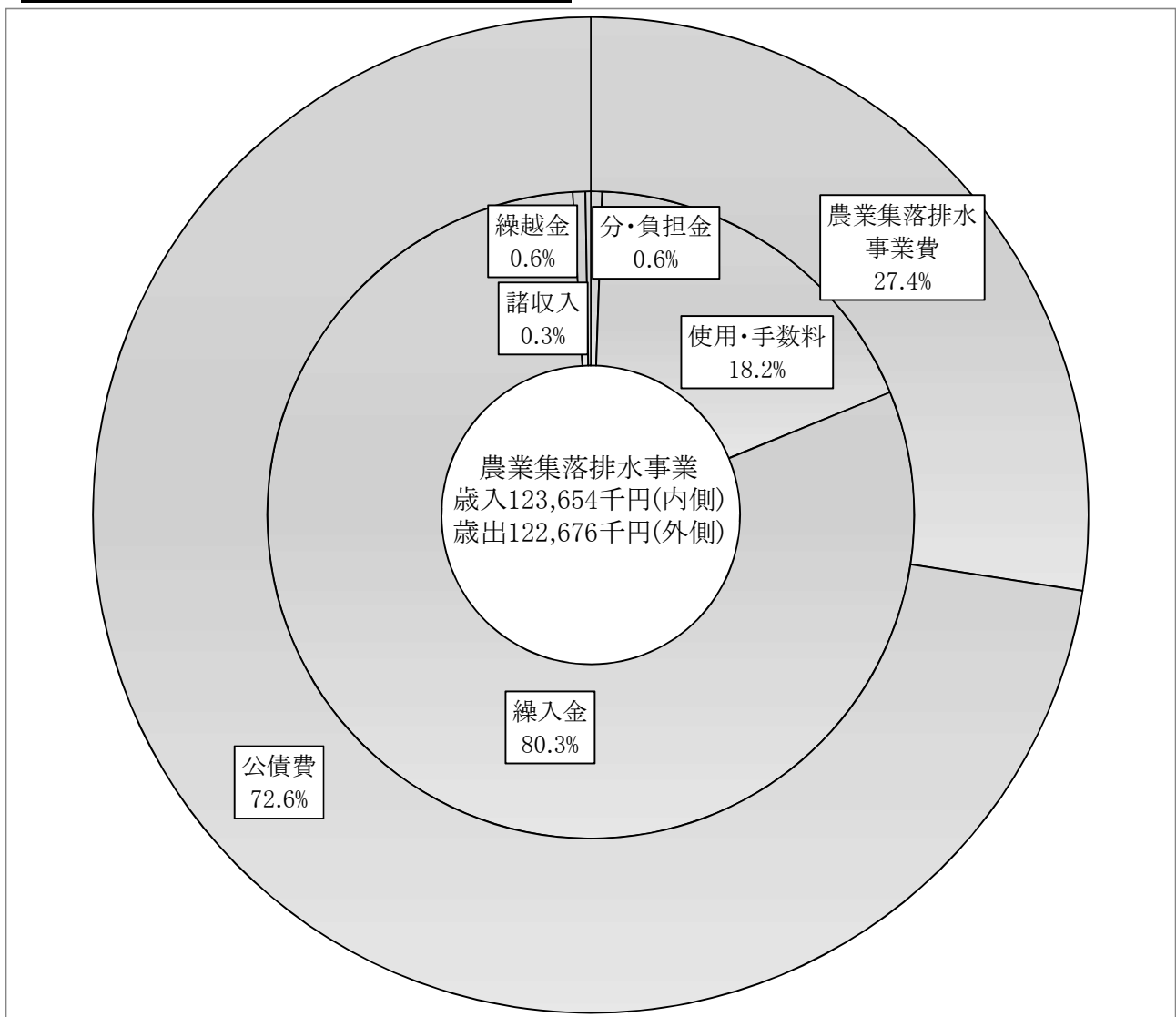
歳入

科目	金額	構成比
1 分担金及び負担金	700	0.6
2 使用料及び手数料	22,555	18.2
7 繰入金	99,300	80.3
8 繰越金	776	0.6
9 諸収入	323	0.3
計	123,654	100.0

歳出

(単位:千円・%)

科目	金額	構成比
1 農業集落排水事業費	33,658	27.4
2 公債費	89,018	72.6
計	122,676	100.0



歳入決算総額は123,654千円で、前年度比1,064千円、0.9%の増額決算となりました。

一般会計からの繰入金が99,300千円と大きな割合を占めています。

歳出決算総額は122,676千円、前年度比862千円、0.7%の増額決算となりました。

維持管理主体の事業構成ですが、建設当時の借入金にかかる公債費が、徐々に減っていますが、大きな割合を占めています。

水洗化率は88.4%と、前年度に比べ0.5%伸びています。